

洋書輸入協会会報

NO. 2

昭和42年6月

定 時 総 会 の 報 告

予てご案内致しました通り5月29日、日本出版クラブに於て定時総会を開きました。
出席会社37社、委任状11社により総会は成立致しました。以下経過をご報告致します。

1. 田辺顧問に記念品贈呈
2. 桜井理事長代理の挨拶
3. 41年度事業報告
4. 関西支部長報告
5. 各委員会の委員長報告
6. 41年度一般会計収支計算書並に基金会計報告・可決
7. 監事の監査結果報告
8. 理事選挙、開票の結果次の通り、（数字は得票）
46 株式会社 紀伊国屋書店 45 丸 善 株 式 会 社 40 日本出版貿易株式会社
40 日本洋書販売配給株式会社 38 三洋出版貿易株式会社 36 株式会社 東光堂書店
35 海外出版貿易株式会社 32 株式会社 国際書房 26 U. S. Asiatic Co., Ltd.
（次点 15 株式会社 竹内書店）

関 西 支 部 推 薦

株式会社 旭屋書店 株式会社 緑書房

総会終了後新理事により理事長互選の結果丸善株式会社（社長 司 忠 氏）が理事長に再選されました。

9. 42年度予算案上程・可決
10. 規約改正案上程・可決
 - 第二章 役員及び職員と四字追加
 - 第六條 理事の次に監事二名と四字追加
 - 第十一条 本会は名誉会長および（三字削除）名誉理事及び顧問（四字追加）を置くことが出来る。名誉会長および（三字削除）名誉理事及び顧問（四字追加）は理事会の決議に依り（以下略）
 - 第十二條 本会の事務を行なうため事務長一名事務員若干名を置くことが出来る、（新規に一条追加、従って第十二條は第十三條となる）
 - 第十四條 前條の事業を行うため委員を置くことが出来る。（新規追加、従って従来の第十三條は第十五條となる。以下二條づつ繰下げる）
 - 第二十條 （従来の第十八條）新に本会に加入せんとする者は会員一名の紹介云々は会員二名と訂正。
11. 今期に限り監事二名の選任を理事会に委託する件・承認
12. 一 般 討 議
13. 閉 会

理事会報告

6月9日(金)

1. 総会(5月29日)結果の検討
2. 関西支部会費徴収方法及び支部費還付方法については、来る6月23日・24日の東西合同懇親旅行会の節、臨時理事会を開催し、協議することに決定
3. 監事二名理事会一任は次の2社に決定
株式会社 竹内書店
株式会社 南江堂
4. アウトサイダー加入の基本的方針については実績3年、2社の紹介は従来の方針を厳守、但しアウトサイダー加入勧誘を積極化することとし、理事会に於て実状に即して決定を行うことに申し合わせた
5. 外国雑誌予約価については、関係主要各社の懇談会を早急に開催し、結論を出して実施にうつすこととする
世話人に丸善高田氏、ユー・エス・エシアテック・カンパニー・山川氏を決定
6. Mr. Paul E. Feffer (Feffer and Simons, Inc., N. Y.)より¥36,000(米貨\$100)の寄附がございました

総務委員会報告

本委員会は5月17日及び5月23日の両日、丸善桜井氏、紀伊国屋相良氏、福本書院福本氏、医学書院大町氏、内外交易山県氏の五委員出席のもとに開催、規約改正案並に41年度一般会計、基金会計及び42年度予算案に対し検討審議し答申しました。

雑誌欠号委員会報告

1. 充足に際して

吾々業界にとって取引上最も頭を悩ますものの一つに雑誌の不着欠号の処理問題があります。既に大方ご承知の通り雑誌取扱いの性格上、この不着欠号を皆無にする事は不可能に近いものと思われ、協会の全体として取り上げる時尚検討の余地が充分残されております。当委員会は不着欠号に関する諸問題をとり上げ、いくらかでも解決の方向にもって行くことを役目とし、吾々業者の業務推進はもとより、購読者への一層の奉仕の一助となり且つ当協会の顧客への信用増大を期してこの事業を進める所存でおります。今後共皆様のご協力をお願い致します。

2. 誤配対策について郵政省との交渉報告

雑誌誤配が不着欠号につながる要因の一つである関係上当委員会にて雑誌、書状等郵便物全般の事故対策に関し郵政省と交渉する事になりました。5月2日郵政省郵務局国際業務課各担当官(紀伊国屋相良氏同行)と5月27日郵務局長及び各担当官(三洋出版貿易社長同行)と面談、郵便物不着、誤配に対する協会員よりの苦情を申立て省側の対策をお願いした。その主な結果として、①誤配(郵便物全般)の実体をつかみ今後の対策の参考にする為誤配の事例を協会より提出して欲しい旨申出があり、6月～8月の3ヶ月間各会員のところで発生した誤配の具体的資料を提出することになりましたので先般J B I A No. 13号にてお願いしました件につきその結果を是非協会宛ご報告下さい。②配達不能誌の処理に関しては中郵の事故係の現状を見学し、その上で省側と業者とで意見の交換を行いお互いに改善の方途を見出すことにしました。

郵便物の確実配達と云う点に於ては、両者共々念願する問題である為、郵政省側としても今回の当協会よりの申出に対し、非常に好意的で積極的の問題処理に当たっておられますので、今後大いに好転期待が望める見通しとなっています。尚直接実務担当は東京都郵政局第一郵務部第二業務課にて行っており今後こちらと交渉を続けて行きます。

3. 第一回委員会 5月26日(金)全員出席

①雑誌欠号発生の原因について

業者、出版元、郵送途中、顧客側と多方面に原因があり、今後夫々について、対策を講じる。

②誤配について郵政省との交渉対策

③手持ち雑誌交換法について

種々意見がありましたが結論を得ず今後の課題とする。協会員の皆様より参考意見がございましたらご提案下さい。(三原記)

渉外P R委員会報告

去る4月5日より約2ヶ月に亘り私が(編集者追記・委員長ユー・エス・エシアテック・カンパニー・山川氏)アメリカ・ヨーロッパ諸国への出張中のため、同委員会の会合が遅れて申訳ありません。初委員会を6月1日一ツ橋如水会館に於て次の出席者で開催しました。

副委員長 国際書房服部氏 竹内書店 竹内氏
日本出版貿易 村山氏 タトル商会 金子氏 ユー・エス・エシアテック・カンパニー 山川 エンデルレ書店 欠席

当日は初会合のため渉外P R委員会として、今後国内、海外両面の活動範囲方法等に関して討議しました。(山川記)

経営研究委員会報告

6月6日、第1回委員会を開き、委員の渡辺氏(洋販)、山川氏(U. S. Asiatic)、小川氏(オリオン)、前橋氏(中央洋書)、石内(東光堂)の諸氏が出席した。

経営一般、特に労務問題について、各社の実状、経営報告し合い、協会員全員に対して給与関係について、アンケートを求めるよう、理事会に回ることを決めた。

今後、月一回の定例委員会の前に、テーマを決めて、時には、外から講師を依頼し、多数の会員の参加を得て、討議、研究する機会を持つことを申合せた。(石内記)

洋書交換委員会報告

6月1日午後如水会館で、三原(海外出版)原(原書店)高木(関東書籍)北沢(北沢書店)の諸氏に私共(国際)とで会合をした。其時定めたこと又後で多少訂正したことは大凡次の通り。

この部は英語名を Book Exchange Service と呼び、主たる目的を会員のために図書の交換(購入販売)を斡旋することとし、其事業を (1)会員から Want List (購入希望図書・探求書一のリスト) (2)Offer List (販売希望図書のリスト)の提供を受け、その儘を、又はその中の図書名を集めて作った目録を会員に配布して、会員から販売又は購入の希望の申出を受けて、夫々希望者に斡旋すること (3)会員の間に交換会 ④古書会館の施設……例えば洋書会……を利用して、又は ⑤独自の方法で開くこと (4)其他、このほか二つ程議案に上ったが、実現出来そうもないから省く、ただ (1) (2) (3) 何れも会員各位の深い御理解と御協力とを受けませんと中々効果的な活動が出来ませんから御高承願ひします。(服部記)

会報委員会報告

4月28日及び6月2日に委員会の会合を持ち、種々検討しましたので、その結果を報告します。

一 会報の趣旨

1. 会員間のコミュニケーションを円滑にする。
2. 洋書輸入協会のP Rに役立てる。

二 発行及び原稿締切り

月一回を原則とし、毎月25日頃を発行日と予定する。従って原稿締切りは前月末とする。

三 掲載記事

1. 洋書輸入協会総会及び懇談会記事
(註) 会員への通知は、その都度従来通りの形式で行われるので、会報には公式記録の意味で要点のみを掲載する。
2. 理事会、関西支部、東海懇談会記事
3. 各委員会記事
4. 会員消息、ニュース、御知せ、投稿等
5. 特集記事
イ. 当分の間、毎号に協会関係の各界から「業界に対する要望事項」の形で寄稿を頂く。
ロ. 連載として、会員紹介記事を2～3社宛名簿順に掲載する。(次頁下段に続く)

外国為替公認銀行から見た 洋書輸入に関する注意事項

銀行が輸入業務に関係するのは、第一に輸入代金決済のための為替売買、第二には官庁委任事務としての輸入承認の二つです。為替売買については欧米通貨であれば銀行も直ちに売買に応じられますので、特に問題となる点はありませんが、輸入承認については現行管理法上種々の規制がありますので、注意すべき事項が少なくありません。そのうちでも特にご注意願いたいのは次の諸点です。

(1)書籍はA A品目ですので輸入割当を受ける必要はありませんが、委託販売輸入をする場合は通産省の事前許可が必要です。

(2)輸入承認申請の際は申請書の内容が正確であることを確認して下さい。承認書の内容変更は銀行だけではできない事項があります。

(3)承認証があれば信用状を開くことも代金を前払あるいは後払することも自由ですが、後払の場合は通関後4ヶ月以内に決済しないと標準外決済となり別途の許可が必要となります。

(4)輸入通関は承認証の有効期間(原則として6ヶ月)内に行わなければなりません。また通関裏書は通常は税関により行われますが、本年4月の制度改正により、郵便により輸入される貨物のうち200米ドル以下のものは税関より交付される「郵便物通関済証明書」に基づいて銀行が通関裏書をする事となりました。この場合も貨物を受取る以前に輸入承認証を取得しておかなければなりません。

(5)輸入通関および代金決済が済み、輸入保証金も銀行から返還されればその承認証は使用済となりますので、直ちに銀行へお返し下さい。

(6)紛失した承認証については再発行の手続をとることとなっていますが、再発行にはかなりの日数を要し、またその間輸入手続が行えませんから、保管には十分ご注意下さい。

なお、販売を目的とせず個人用として輸入する書籍の場合は500米ドル以下であれば、輸入承認証を使用せずに代金を決済する方法もあります。

会 員 紹 介

“我が国の音楽界に貢献”

アカデミア ミュージック株式会社

芸は身を助けると云う諺があるが、アカデミア ミュージック(株)平岩社長の場合、趣味が本業に結びついた世にも幸福な例の一つである。氏は戦前グスターフ・フック東京支社に勤務されていたが、戦後昭和21年葵書房として古書店を開業された際、趣味で集めていた楽譜を店頭に出したところ、飛ぶように売れたことから今日の業界唯一の楽譜専門店に発展したと云われている。昭和27年アカデミア図書時代には生物、化学関係の書籍を扱っていたが、現社名に改めた際業務を分離し、楽譜一本に専門化した。但し関連品目として Recorder を扱っており、この方面での今後の活躍も期待される。現在 Lea Pocket Score、ハーゲル社の楽譜、Küng Blockföte の総代理店となっている。

“日本美術の普及に努力”

美術出版社株式会社

美術出版社は1955年(昭和30年)に海外部を新設。TIME LIFE 社をはじめ世界各国の一流出版社との提携により、輸入面では「セザンヌ」「ルノワール」等の画集や「美術の歴史」「世界の建築」等を、また輸出面では「いけばな」「日本の寺」「日本建築の根」「東洋古陶磁」等、これまでに42点の海外向図書を出版してきた。このうち画集「斉藤義重」はライプチヒ国際書籍美術展ブロンズ賞を、「日本の寺(Japanese Temples)」は第1回国際出版文化賞を受賞。その出版活動はユニークかつ多彩である。

加えて、海外の美術・建築・デザイン関係の書籍の輸入業務は美術出版社サービスセンター洋書部が当り、輸入図書の常設展示のほか、わが国の販売総代理店としても積極的な動きを示しつつある。

また、フランクフルトで開催される「国際書籍見本市」には、毎年美術出版社が単独で特陳コーナーを設け、内外文化の幅広い交流をめざして、日本美術の海外への普及に努力している。

(前頁より続く)

6. 其他必要事項

尚例えば統計資料等、出来るだけ会員に役立つようなデータも収録したい。

四 原 稿 料

会員については当分の間無料、会員外については一篇1,000円程度を差上げる。

五 広告欄を設けて活用したい

以上の通りですが、限られた予算内で出来るだけ良いものを作りたいと、委員一同念願しております。各位の御援助を御願い致します。(相良記)

関西支部臨時総会報告

関西支部臨時総会は42年6月3日東阪急ビルにて開催。出席会員22社、委任状3社にて総会成立
会員現在数27社

1. 和田支部長（代理）（旭屋書店）より挨拶、
5月29日の東京総会の報告、本年度支部運営方針、各委員会設置報告
2. 議案審議
イ 支部規定改正案提出・承認
ロ 42年支部予算案提出・承認
3. 役員指名発表
支部長 株式会社 旭屋書店
副支部長 株式会社 緑 書房

北尾書籍貿易株式会社
株式会社 独亜書院
丸善株式会社大阪支社
日本洋書販売配給株式会社
大阪支店
ユー・エス・エシアティック・
カンパニー大阪営業所
○ 丸田洋書貿易株式会社（京都）
○ 株式会社 紀伊国屋書店
京都支店
（○印は新任、他は重任）

4. 各委員会報告
5. 懇談

関西支部だより

42年5月9日 昭和42年度定時総会開催（於新阪急ビル）

41年度事業報告 収支決算書審議 之を承認

42年度支部長 副支部長選出

42年度予算案 運動方針案は新執行部に於て編成立案の後本部総会で予算決定後臨時総会を開催して決定する事を決議

支部長 株式会社 旭屋書店（重任）

副支部長 株式会社 緑 書房（〃）

5月10日 役員会開催（於旭屋書店）

42年度役員は41年度通り之を重任とした後、京都地区に新たに2役員の新任を認め、臨時総会に規約改正案を提出し、可決されたる後、正式選任することを決議

42年度各委員会設置案を決める

企劃 総務 事業 厚生 会計

5月19日本部理事会の開催を要請し丹羽副支部長の出席を決める

役員 北尾書籍貿易 独亜書院 丸善阪支

ユー・エス・エシアティック阪支 洋販阪支

（以上重任）

5月15日 税関懇談会開催（於全日空会館）

司会 丹羽（緑）坂本（独亜）

税関側 係員2名

協会側 15名（本会員10社、出先会員2社）

出席しライセンス通関確認手続につき協議、改正された税関統計用紙による記入の説明をきく

5月19日 本部理事会に丹羽副支部長出席

5月22日 新役員会、第一回役員会（於旭屋書店）
役員の紹介、支部長代理の挨拶の後丹羽副支部長報告を中心に予算案作成

新各委員会 委員（長）選任 臨時総会運営方法の協議 本部総会に正副支部長の出席を定めると共に支部の総会に臨む態度を協議

各委員の顔ぶれは下記の通りである（○は長）

企画 全役員

総務 ○緑 書房 丸田洋書

渉外 旭屋書店

事業 ○丸善阪支 独亜書院 北尾書籍貿易
紀伊国屋京支

厚生 ○ユー・エス・エシアティック阪支

会計 ○洋販阪支

NEWS欄

■ Mr. W. Feuillan Representative of W. B. SAUNDERS CO., Philadelphia, Pa.

東京都世田谷区代田4-32-18

電話 322-3050

今回上記に事務所設置業務を開設された旨通知がありました。

OUTSIDERS 情報

■ 内田 仁氏 (株)ユニバーサル商事
(内田大学書店)

東京都品川区北品川4-8-12

コンサート・ホール・ビル内 電話443-1849

上記5月1日より営業の由案内がありました

■ 神戸洋書 富永邦夫氏

神戸市生田区多聞通4-9-17 電話(078)34-3177

上記に工書専門店開設、常備委託契約希望の旨依頼がありました。

尚其の他お気付きの点は事務所までご連絡願います。

昭和42年6月 第2号 洋書輸入協会 編集者 寺久保一重

東京都中央区日本橋通2丁目6番地 丸善株式会社内 電話 272-7211